

所沢税務署長賞

税金

向原中学校 三年 YANG CANXI

私の名前は楊○○です。もちろん、あだ名に決まっています。中国では、子供や女性の名前です。私は中国人の女の子です。

去年の九月に日本に来て、生活を始めました。今回の作文の機会です。「税金」について考えてみると、お菓子や焼き鳥を買う時に「消費税を余分に取りられている」という認識でした。中国では「増値税」という名で税金がかかります。電子決済がほとんどなので、税金を払っている感覚はありませんでした。

実は私は、初めて日本に来たのは、六年前です。私は「中国人の旅行者」として、日本に来ました。はとバスツアーでスカイツリーや浅草を観光し、お昼ご飯はテンプラを食べました。美味しく食べていましたが、魚のテンプラを食べた時に、不意に私の喉が痛くなりました。魚の骨が私の喉に刺さったのです！まだ幼かった私は大泣きし、その日はその後おやつや晩御飯に何を食べたのか、覚えていません。次の日、私を病院に連れて行ってくれ、診察を受けました。幸い、既に骨は取れていたみたいで、痛みや傷は残っていませんでした。「中国人の観光客」が診察を受けたので、診療費は全額負担となりました。後に「結構な金額だったよ。」とお母さんは教えてくれました。

さて、それから月日がたち、私は日本で生活するので、市役所で

転入手続きをしました。私のいた遼寧省瀋陽市と日本では、言葉や気候が異なります。そのためか、私は心と体の負担を感じ、頭が痛くなったり、花粉症の症状が出たりしました。そのような時、両親は私を医院に連れて行ってくれて、診察を受けさせてくれました。

薬も処方され、薬局で薬も買いました。幼い頃の魚の骨事件を思い出し、私は、「医療の費用が高いですね？」と訊ねました。お母さんは「大丈夫、中学生は医療の費用が無料なんだよ」と教えてくれました。私が「どうして？誰がお金を払うの？」と訊くと、「国民健康保険税を払っているからそれを原資にして学生さんの医療費を補助する制度になっているんだよ。」と答えてくれました。今まで「税金」と言うと、焼鳥代が高くなるという認識でした。しかし、医療費が無料になるという形で私に判り易く税金の使われ方が伝わり、今回の作文の機会もあって「税金は取られるだけではなく、自分にも返ってきているんだ」と実感しました。

学校からもらった資料を見たりして、税金は「行政サービス」といういろいろな形でみんなのために使われているのだと、分りました。集まった税金の使われ方が適切であるかを監視するのも、税金をはらっている人の大事な役割だと思っています。